飼い主のいない動物への餌やりは その動物を不幸にしてしまいます

キツネなどの野生動物、外にいる猫に餌を与える行為は、かわいそうな動物の命を守っているように見えるかもしれませんが、餌を与えることによって、キツネは本来の野生で生き抜く力を失い、猫は野外の過酷な環境にさらされてしまいます。

◎キツネの場合
- 苦労せず餌をもらうことに慣れてしまうと、本来持っている狩猟能力を失います。
- 人間への警戒心が薄れ、交通事故のリスクが高まります。
- 有害鳥獣として駆除されるときもあります。
- 人間にもエキノコックスの感染リスクが高まります。

◎猫の場合
- 猫は繁殖力が非常に高いため、すぐに数が増えてしまいます。また、近親交配が進みやすく、死産や奇形で生まれる仔猫が多くなります。
- 猫と人間は永年の歴史の中で、人間のペットとして暮らすようになりました。野外で生活する動物ではありません。特に冬のある北海道では、過酷な環境にさらされ続けています。
- 畑荒らしや排泄物などで、ご近所トラブルも起こります。

【問合せ先】
滝上町農林建設課いきもの係
電話：29-2111（内線262）